

◆委員（山本みちよ君）

それでは、1点お伺いいたします。平和・人権学習事業についてお伺いしたいと思っております。この事業につきましては、説明資料によりますと、予算56万4,000円に対して決算額が24万7,000円ということなんですが、こうした中で、人権の問題また、平和の問題ということで、これは32日と書いてありますが、32回というふうな解釈でよろしいのでしょうか。コンサートや映画会や講座を開催し、1,802人の参加があったということで書かれております。この中で、講座の内容とかその参加人数、また参加された方のお声とかといったものがありましたら、わかりましたら教えていただきたいと思っております。

◎生涯学習推進センター長（早川律康君）

平和学習につきましては、ちょっとお待ちください。――大変失礼しました。平和・人権学習の実施状況でございますが、具体的な事業の内容とか回数になりますが、具体的な合同事業といたしましては、人権映画会として、「石井のおとうさんありがとう」という映画会をやり、延べ158名の参加がございました。また、講座といたしまして、「日本と朝鮮半島の2000年～日韓交流の新たな視点～」ということで、延べ参加者が121名、これは延べ3回の回数を実施したところでございます。

それから、人権パネル展につきましては、「孤児救済に命をかけた生涯」ということで、26日間のパネル展を行い、延べ1,397名の参加をいただいたところでございます。

◆委員（山本みちよ君）

立川市の教育といたしましては、人権問題ということで力を入れていただきまして、大変にありがたいと思っております。そうした中で、立川市は平和都市宣言も行っているということで、人権の問題とあわせて平和を考えるということも非常に重要な教育になっていくかと思っております。

数年前まで、立川市の中学校の修学旅行も広島まで連れて行っていただきまして、うちの一番上の子ども、その最後になるかと思いますが、実際、ドームとかを見たりして、とても大きな、やっぱり現場に行くということが大変大きな教育になるなということを感じております。現在はそこまで、時間的な行程とかいろいろあるかと思いますが、行っていないという現状がございます。

そうした中で、小金井市の取り組みとしまして、夏休みに、例えば希望する親子で平和ツアーということで、助成しながらドームのところに行くとかという形で、実際に現場に行くというような、そういう事業をされているというお話を聞いたことがございます。何としても平和都市宣言をされている立川市ですので、そういった意味でも、そういった助成をしながら実際に行くという、教育にも力を入れていただくということにはできないかということで、お答えいただきたいと思います。

◎指導課長（並木浩子君）

今お話しいただきました夏休み親子平和ツアーという名前がございましたが、保護者の方への協力も含めてということになりますと、これから取り組みには準備が必要かと思いますが、いずれにしても子どもたちが人権を大切にする、そして自分の身の回りから、それをさらに立川市内、それから東京都、日本、そして世界に、自分の考えやそのことを広げていけるということが、特に発達段階に応じて必要な人権についての学習の大きな課題というふうに考えております。子どもたちのそういった意識の高まりが具体的な行動になるようにということで、ボランティア活動も含めて、さまざまな機会子どもたちが学んでいけるように、指導、助言もしていきたいと考えております。

◆委員（山本みちよ君）

ぜひ平和都市宣言の立川市といたしまして、もう少し、もう一重、そういった意味でも具体的な施策がとられることを要望いたします。